

国文祭・芸文祭みやざき2020
みやざき短歌きらり★全国高校生みやざき短歌甲子園開催要項

目 的

高校生が全国規模で短歌を競い合う大会は、下記のように全国で3つある。

- ①全国高校生短歌大会（通称「短歌甲子園」）
（主催 全国高校生短歌大会実行委員会、盛岡市にて開催）
- ②牧水・短歌甲子園
（主催 日向市・日向市教育委員会・日向市東郷町若山牧水顕彰会）
- ③高校生万葉短歌バトル in 高岡
（主催 高校生万葉短歌バトル高岡実行委員会）

国文祭・芸文祭みやざき 2020 において、高校生の自己表現力のさらなる向上を図り、若者における短歌の振興に寄与することを目的に、これら三市における大会の成績上位校等を集めた交流戦を開催する。当初は、全国から宮崎市に高校生を招いての大会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染沈静化の見通しが立たないことから、令和2年度の国文祭・芸文祭みやざき 2020 さきがけプログラムに引きつづき今年もオンラインで実施する。また、今年には宮崎県高等学校総合文化祭の文芸部門と同日開催とし、県内高等学校の文芸部生徒に観戦の機会を設ける。

開催期日

- 令和3年9月25日（土）リーグ戦6試合・決勝戦・講評
26日（日）審査委員の先生方による座談会
※宮崎県高等学校総合文化祭の文芸部門と同日開催

会場・観覧者

[本会場] メディキット県民文化センター 演劇ホール

[県外校会場] 各出場校

- ※両日とも関係者と総文祭（文芸部門）の高校生のみ観覧。
- ※25日（土）は配信動画をステージ上のスクリーンに投影したものを視聴。
- ※26日（日）は先生方の座談会を観覧。

配 信

両日ともインターネットによる同時配信を行う。また、大会終了後も撮影動画を公開し、常時視聴できるようにする。

- ※ YouTube チャンネル「いざムーいざ！国文祭・芸文祭みやざきムービー隊」よりご覧いただけます。



主 催

文化庁、厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

共 催

宮崎県高等学校文化連盟

後 援 (予定)

全国高校生短歌大会実行委員会、日向市、日向市教育委員会、日向若山牧水顕彰会、牧水・短歌甲子園実行委員会、高校生万葉短歌バトル高岡実行委員会、角川文化振興財団、本阿弥書店

出場校について

■ 1 出場枠

○当該年度の三市大会の成績上位校のうち、宮崎県外 3 校・宮崎県内 3 校合計 6 校とする。ただし、今年度の盛岡市大会の結果は、本大会より後日に判明する可能性があることから、盛岡市大会については令和 2 年度の結果により選出することとする。

■ 2 選考基準

○出場校の選考基準は下記のとおり。

- ①県外3校については、三市大会から最も優秀な成績を修めた学校を選出する。
- ②県内3校については、三市大会に出場した県内校のうち優秀な成績を修めた上位3校を選出する。
- ③その他、参加校の決定については、大会主催者が三市大会の結果を参考にして最終的に判断する。

○選出された学校の出場がどうしても困難な場合は、当該校が選出された三市大会と同じ大会において次に優秀な成績を修めた高校を順次繰り上げて選出することとする。
○1つの学校が複数の大会において優勝した場合は、当該校を1つの大会の優勝校として選出し、それ以外の大会については次に優秀な成績を修めた高校を繰り上げて選出することとする。

■ 3 チーム構成

○1校あたり1チームとし、1チームは選手3人・引率1人の4人とする。
○出場チームのメンバー構成は、三市大会に出場した選手を原則とする。ただし、三市大会に出場した選手の中で本大会への出場が難しい生徒がいる場合は、選手の入替えを認める。

内 容

【団 体 戦】

■ 1 試合方法

○3校ずつの2つのリーグ戦を行い、各リーグの1位校による決勝戦を行う。
○リーグ戦は題詠で行う。定められた3つの題のうち各校2つについて題詠を行い（組み合わせにより題が決まる）、事前に提出した短歌により競技を行う。詠題は「耳」・「読」・「嘘」。
○組み合わせは、出場校がすべて決まり次第できる限り速やかに連絡する。
○決勝戦は、事前に提出した自由題の作品により競技を行う。
○投稿用紙に選手3人の未発表自作短歌を各自2つの題について各1首ずつ、自由題で1首の計9首を記入して提出する。

- 試合開始後、やむを得ない理由により選手に欠員が生じる場合は、補欠選手を1チームに1人認める。ただし、すでに提出した作品の変更はできない。
- 提出締切りは **9月10日（金）を予定**。
提出方法は、郵送の他、FAX 及びメールのいずれかとする。
郵送の場合：当日必着
FAX・メールの場合：送信の事前又は事後に必ず電話連絡をすること。
- 対戦する2チームがステージ上で各作品を発表、短歌に込めた想いをアピール **（必ず作者以外の選手が行うこと）**、相手チームの短歌について質問や意見を述べる。
※事前に全選手の作品を各学校にお知らせします。**（9月13日（月）前後を予定）**
※牧水・短歌甲子園（日向市）や、昨年度の全国高校生短歌オンライン甲子園の要領で試合をします。YouTubeにて過去の牧水・短歌甲子園の様子が視聴できます。
- 勝率により順位が決定する。

■2 審査

（リーグ戦・決勝戦共通）

- 主催者が依頼した審査委員が審査し、旗の数で勝敗を決定する。
- 競技の審査は、作品の出来に加え、感性や自己表現力、アピール力なども加味される。

（リーグ戦）

- リーグ戦は、4人の審査委員がローテーションにより1試合3人ずつで審査する。
- 1つのリーグにおいて1勝1敗が2チームあった場合は、旗の総数で勝敗を決める。
（旗の総数が同じ場合は、審査委員の投票により決定する。）

（決勝戦）

- 決勝戦は、審査委員長を含む5人の審査委員全員で審査を行う。

■3 表彰

- 優勝、準優勝のチームを表彰する。

【作品賞】

- 審査委員長を含めた5名の審査委員が、リーグ戦と決勝戦に投稿された短歌の中から1首ずつ、計5首選出する。
- 各審査委員が選んだ作品をそれぞれ表彰する。
- 別に角川「短歌」編集部賞、「歌壇」編集部賞を設ける。（予定）

出場費用（予定）

（出場料）

- 無料とする。

（交通費）

- 宮崎県外3校については、各学校を会場とするため支払わない。
- 宮崎県内3校については、学校の所在地から本会場（メディキット県民文化センター）までの実費相当額を各校2万円を限度に支払う。

（宿泊費）

- 宮崎県外校3校については、各学校を会場とするため支払わない。
- 宮崎県内校においては、主催者が認める場合に限り宿泊を認めるものとし（1泊朝

食付き)、各校2万円を限度に負担する。

(食費)

○25日(土)の昼食については、県外・県内校とも主催者が定額を負担する。

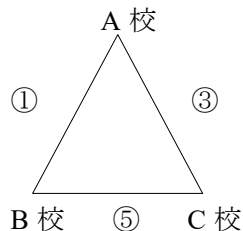
大会スケジュール(予定)

■25日(土)メディキット県民文化センター 演劇ホール、県外出場校

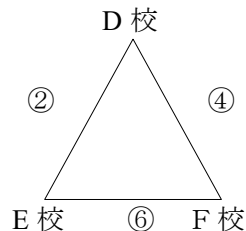
時間	内容
9:00-10:00	リハーサル
10:00	開場
10:30-10:50	オープニング・開会式
10:50-12:20	リーグ戦3試合(①②③) ※1試合30分間
12:20-13:10	昼食・休憩(50分)
13:10-14:40	リーグ戦3試合(④⑤⑥)
14:40-15:00	休憩(20分)
15:00-15:30	決勝戦(リーグ戦⑦)
15:30-16:30	講評(決勝戦とすべての自由詠について)
16:30-17:00	閉会式

※県外校3校については、前日24日に会場セッティングと通信確認、また生徒さん達への段取り説明をさせていただく予定です。

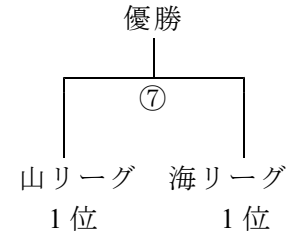
《山リーグ》



《海リーグ》



《決勝戦》



【詠題】

リーグ戦：①②「耳」 ③④「読」 試合⑤⑥「嘘」 決勝戦⑦：自由詠

■26日(日)メディキット県民文化センター 演劇ホール

時間	内容
10:00-	開場
10:30-12:00	審査委員による座談会
12:00	終了

審査委員

◇伊藤一彦(審査委員長)

1943年宮崎県出身。若山牧水記念文学館館長。歌人。歌集に『海号の歌』(読売文学賞)、『新月の蜜』(寺山修司短歌賞)、『微笑の空』(迢空賞)、『月の夜声』(斎)

藤茂吉短歌文学賞)、『土と人と星』(現代短歌大賞・毎日芸術賞)、『遠音よし遠見よし』(詩歌文学館賞)、最新エッセイ集『歌が照らす』、編著に『若山牧水歌集』(岩波文庫)、俳優の堺雅人との対談集『ぼく、牧水!』他。

◇米川千嘉子

1959年千葉県出身。歌人。「かりん」編集委員。毎日歌壇選者。歌集に『夏空の櫂』(現代歌人協会賞)、『一夏』(河野愛子賞)、『たましひに着的服なくて』、『一葉の井戸』、『滝と流星』(若山牧水賞)、『衝立の絵の乙女』(山本健吉文学賞)、『あやはべる』(迢空賞)、『吹雪の水族館』(小野市詩歌文学賞)、『牡丹の伯母』など。

◇俵 万智

1962年大阪府出身。歌人。歌集に『サラダ記念日』(現代歌人協会賞)、『チョコレート革命』、『プーさんの鼻』(若山牧水賞)、『オレがマリオ』、『未来のサイズ』(詩歌文学館賞、迢空賞)など。評論『愛する源氏物語』(紫式部文学賞)、評伝『牧水の恋』(宮日出版文化賞特別大賞)、『考える短歌』他。

◇大口玲子

1969年東京都出身。歌人。歌集に『海量(ハイリャン)』(現代歌人協会賞)、『東北』(前川佐美雄賞)、『ひたかみ』(葛原妙子賞)、『トリサンナイト』(芸術選奨新人賞・若山牧水賞)、『桜の木にのぼる人』(宮日出版文化賞)、『ザベリオ』(小野市詩歌文学賞)、『自由』(日本歌人クラブ賞)他。宮日文芸選者。

◇笹 公人

1975年東京都出身。歌人。「未来」選者。歌集に『念力家族』(NHKE テレにて連続ドラマ化)、『念力図鑑』、『抒情の奇妙な冒険』、『念力ろまん』。他に『ハナモゲラ和歌の誘惑』、『念力レストラン』、『念力恋愛』、絵本『へんなあさ』、朱川湊人との共著『遊星ハグルマ装置』、和田誠との共著『連句遊戯』など。

その他

- 応募作品は、未発表のものとする。
- 応募作品の著作権は主催者に帰属する。本大会への応募作の公募型コンクールへの応募は不可。
- 出場校については出場申込みをもって、下記について了承したものとする。
 - ・主催者が、試合の様子を当日オンライン中継すると同時に、後日編集動画を配信すること。
 - ・主催者や主催者の許可により、作品や学校名、名前、写真、動画を各種マスメディア等で公開すること。

連絡先

〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号
第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局(宮崎県国民文化祭・障害者芸術文化祭課内)担当:八木
TEL 0985-26-7413(内線3917)
FAX 0985-26-7414 E-mail yagi-ayaka@pref.miyazaki.lg.jp

